

## ～ 東京大空襲・鎮魂演奏 ～

日時 3月10日（火）第1回12時～ 第2回13時30分～ （各回20分）  
出演 ハープ：八木健一 シンセサイザー：八木ゆみ子  
曲目 オリジナル作品「祈り・光へ（鎮魂）」「寒い夜に」ほか  
会場 東京大空襲・戦災資料センター 1階映像・講話室

### 八木 健一（ハーピスト）

「父の康二は東京大空襲で罹災しました。そして、その悲惨さを黙して語らぬまま他界していきました。そんな亡き父や罹災された方たちのために捧げた曲を、ある日披露しました。

そこから私の平和のための演奏活動がスタートしました。」



やぎ けんいち・・・小学生からアイリッシュハープを習いヨセフ・モルナール氏

（ウィーン少年合唱団出身/日本ハープ協会会長）の薦めでペダルハープに転向。以後も同氏に師事し、桐朋学園オーケストラ演奏会（小澤征爾氏指揮）、名古屋フィルハーモニーオーケストラ、群馬交響楽団、東京シティーフィル等に参加。幅広い音楽活動を続け現在に至る。父の八木康二は東京大空襲で罹災した。そんな父のために、父が生前足繁く通った東京大空襲資料センターの主催イベントで、オリジナル曲を発表することになる（作曲は妻八木ゆみ子）。それが亡き父の意志を継ぎ演奏活動を始めた契機となった。現在、日本ハープ協会理事。藤沢市片瀬在住。

### 八木ゆみ子（ピアニスト・キーボーディスト）

「みずみずしく、あたたかく。まるで私たちが暮らす美しい湘南の景色のように、より多くの人に音楽の贈り物を届けていきたい。」



やぎ ゆみこ・・・幼少よりピアノをはじめ、東京音楽大学器楽科

ピアノ専攻を卒業後ウィーンにてエリカ・ディヒラー氏に師事。現在はクラシックからポピュラー・ジャズとアンサンブルを中心に、全国の小中学校・ミュージカル・レコーディング・フィギュアスケートのアイスショーや水族館・プラネタリウム・海辺等に出演するなどしている。またミュージックセラピーではホスピス・病院・福祉施設等で音楽を通じた触れ合いを続けている。常に「癒し」をテーマに自然と人との調和が感じられる曲づくりをおこなっている。

### 平和に関する主な活動履歴

2008年「東京大空襲を語り継ぐつどい」、2009年「『夢』をはぐくむ連続講座第5回ハープ鑑賞会」、声に出す平和への祈り「語り継ぐ東京大空襲」、2010年「鎮魂演奏」（東京大空襲戦災資料センター）、「声に出す平和への祈り」、「熊谷空襲・平和を願うコンサート」、「語り継ぐ東京大空襲～ハープの調べにのせて～」。以来、3月10日には戦没者のための慰霊コンサートを続けている。CD：東京大空襲への鎮魂歌「祈り・光へ」（2008年）オリジナル作品を収録した「水彩楽」（2010年）